



市長の全力！まち取材

市長が市内のさまざまな場所を取材し、紹介するコーナーです。
市長が全力で市内を巡り、皆さんの声を聴き、キラリと輝く戸田の宝を発掘します。



第22回

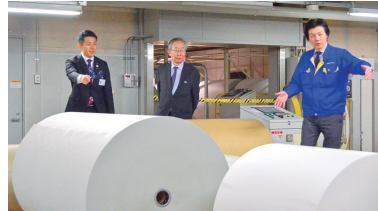
今回伺ったのは

埼京オフセット株式会社

東京新聞は戸田から

毎朝、新聞に目を通している市長が今回訪れたのは、埼京オフセット株式会社。埼玉と東京の一部に配られる東京新聞の朝・夕刊、サンデー版を印刷しています。最近では新聞を読む人が減っており、普及率は戸田市でも40%ほど。片田知行社長が「新聞社が発しているニュースは、きちんと取材をした上で掲載している情報です。読者が減っている状況に危機感をもっていますが、正確な情報を伝えることを誇りに新聞をつくっています」と新聞への思いを語ると、市長は「インターネットなどでも気軽に情報を得ることができる時代ですが、取材に基づいた新聞で得る知識はとても重要なものです。戸田市から各地に届けられる新聞だからこそ、もっと戸田の情報が載るように頑張らないといけませんね」と答えていました。

印刷工程の説明を伺いました。



刷り上がったばかりの夕刊を手に取る市長。

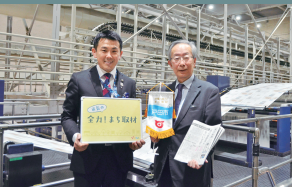


monthly photo
今月のパチリ

取材の帰りに、取材中の様子を収めた見学記念版の東京新聞を受け取り、印刷工場ならではのプレゼントに市長は感激していました。

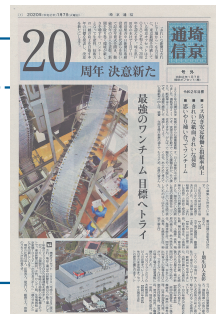
取材を終えて市長は

昔使われていたなまりの原版や新聞用のロール紙など、興味深いものをたくさん見せていただきました。刷り上がるスピードも圧巻で、社長のモットーである「載って嬉しい 読んで得する 地域をよくする」という言葉も印象的でした。



埼京オフセット株式会社（上戸田）

中日新聞社7番目の新聞印刷工場で、東京新聞の新鮮なニュースを美しい紙面で読者に届けるため、平成12年9月に稼働しました。毎時15万部の印刷能力をもつ高速オフセット印刷機での印刷が特徴で、市内小学校の社会科学見学を受け入れるなど、地域貢献も行っています。



市長が市内の企業や事業所など、皆さんのところへ取材に行きます。申し込みは政策秘書室まで（内線438）。※詳しくは市ホームページをご覧ください

* 福祉総合相談窓口を開設しました *

複合化した福祉の困りごとに、専門のスタッフが相談を受け、内容に応じたサポートをします。

とき 月～金曜日、午前8時30分～午後5時15分
※祝日、年末年始を除く

ところ 市役所1階生活自立相談センター内

対象者 福祉に関する相談のある市内在住者および親族など ※住民登録の有無は問いません

面接相談 専門のスタッフが話を伺い、課題を整理します。

継続したフォロー 相談内容に応じたサポートや、適切な関係部署・機関へのつなぎを実施します。

問い合わせ 福祉総合相談窓口 ☎446-7838

* 令和2年度組織改正 *

組織の強化のため、担当の再編による組織改正を行いました。組織の変更点2つを紹介します。

●子ども家庭課に「家庭児童相談担当」を創設

複雑化・深刻化する児童相談に対応するため、「家庭児童相談担当」を創設します。

●保育幼稚園室の担当を再編

改正前	改正後
入所・認定担当	入所・認定担当
管理・指導担当	指導・監査担当
待機児童対策担当	管理・給付担当

保育の質の向上のため、指導・監査の担当を独立させるとともに、安定した制度運営を維持するための組織体制に再編します。

問い合わせ 経営企画課(内線436)